

2023年4月6日

各位

日本特殊陶業株式会社

～企業の力で、街をきれいに～
IoT スマートゴミ箱「SmaGO」(スマゴ)を使用した
表参道におけるスマートアクションプロジェクトへの支援を開始しました

Niterra グループ 日本特殊陶業株式会社(社長:川合 尊、本社:名古屋市東区)は、株式会社フォーステック(社長:竹村 陽平、本社:東京都千代田区)、株式会社ヘラルボニー(社長:松田 崇弥、本社:岩手県盛岡市)が東京・表参道沿いの歩道に34台設置、提供しているIoT スマートゴミ箱「SmaGO」(スマゴ)を使用した表参道におけるスマートアクションプロジェクトに対して、4月1日(土)より支援を開始しましたので、下記の通りお知らせいたします。

「SmaGO」は、ソーラー発電で作動するため電源が不要なIoT スマートゴミ箱です。ゴミが溜まると自動的に約1/5まで圧縮する機能を持ち、ゴミが溢れず回収回数の削減が可能です。また、通信機能を通じてゴミの蓄積状況をリアルタイムにクラウド上で管理・分析できるため、効率的なゴミ回収が可能になり、回収コストや、回収作業に伴うCO₂排出量の削減が期待されます。

当社は2022年7月より本社に隣接する久屋大通公園にて、本社の周辺地域への環境貢献をしたいと考え、「SmaGO」運用の支援を行っており、今回で2か所目となります。

スマートアクションプロジェクトは、ゴミを正しく捨てることから始まる、循環型社会への新しいチャレンジです。今年度は表参道からスタートしサステナブルなゴミ回収システムとヘラルボニー契約作家の描くアートを融合することによって、アートを楽しみながら社会に新しい価値を生み出し、サステナブルな社会、多様性を認め合う社会の実現を目指します。福祉や文化への貢献にとどまらず、サーキュラーエコノミー(循環型経済)への取り組みも推進していきます。

当社としてはこのチャレンジに共感し支援するとともに、本活動を通じて、より一層、持続可能な社会づくりへの貢献を進めてまいります。

名古屋市東区東桜一丁目1番1号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

■設置写真
表参道（東京都）



左から株式会社フォーステック 竹村陽平社長、株式会社ヘラルボニー 松田崇弥社長、
弊社副社長 松井徹、サステナビリティ戦略室長 北河広視

久屋大通公園（愛知県）

※当社の英文商号の変更に伴うコーポレートロゴの刷新のため4月1日（土）からリニューアル



■SmaGO について

当ゴミ箱は世界では 50 カ国 80,000 台以上が導入されており、各地でゴミ回収の効率化・最適化、街の美化を実現しています。

■SmaGO の特徴

1. ゴミが溜まると自動で約 1/5 に圧縮

ゴミが一定量貯まると、自動で圧縮機能が作動。およそ約 1/5 に圧縮し、1 台あたり約 600 リットルのゴミを溜めることが可能なため、ゴミ箱が溢れることがなくなり、街の清潔さを保つことができます。

2. 通信機能でリアルタイムにゴミの量を管理・分析

内部のセンサーが溜まっているゴミの量を常に検知し、4G 通信機能でクラウドに共有。PC やスマートフォンからリアルタイムに各ゴミ箱のゴミの量を確認することができます。ゴミ箱がいっぱいになるとメールアラートが飛ぶ機能や、ゴミが溜まりやすい場所や時間を分析する機能もあり、効率的なゴミ回収を可能にします。

3. ソーラーで発電し蓄電

上部のソーラーパネルで発電し蓄電するため、電源が不要だけでなく、環境に負担をかけずに利用することが可能。使用電力も 1 日 5W 以下と非常に少なく、3 週間ほど悪天候が続いても問題なく作動します。

ご参考：株式会社フォーステック社 (<https://forcetec.jp/>)

■アート作品について



「海」

伊賀 敢男留（東京都）

1988 年、東京生まれ。2015 年にアールブリュット立川に出展したことをきっかけに、以後毎年作品を発表している。自閉症のため会話は苦手、それでも人が好きで初めての人に出会うことにも躊躇はない。また音楽も大好きで、20 年間チェロを習っている。



「プール」

松本 真由美
のぞみの家（東京都）

歩くことが大好きで車椅子に座っていても気分が良くなると両足がぴょんぴょんと跳ねてきます。絵画の時間も歩きながら鈴の音がする筆を持って、叩くように時に撫でるように楽しみながら絵を描いています。踊るように描いている様が松本さんの楽しさを連想させ、弾けるタッチで楽しかった思い出が蘇るようです。

■株式会社ヘラルボニーについて

ヘラルボニーは「異彩を、放て。」をミッションに掲げる、福祉実験ユニットです。日本全国の主に知的な障害のある福祉施設、作家と契約を結び、2,000 点を超える高解像度アートデータの著作権管理を軸とするライセンスビジネスをはじめ、作品をファッションやインテリアなどのプロダクトに落とし込む、アトライフスタイルブランド「HERALBONY」の運営や、建設現場の仮囲いに作品を転用する「全日本仮囲いアートミュージアム」など、福祉領域の拡張を見据えた多様な事業を展開しています。これらの社会実装を通じて「障害」のイメージ変容と、福祉を起点とした新たな文化の創造を目指します。社名である「ヘラルボニー」は、知的障害のある両代表の兄・松田翔太が 7 歳の頃自由帳に記した謎の言葉です。「一見意味がないと思われるものを世の中に新しい価値として創出したい」という意味を込めています。

会社名：株式会社ヘラルボニー / HERALBONY Co.,Ltd.

所在地：岩手県盛岡市開運橋通 2-38

代表者：代表取締役社長 松田 崇弥、代表取締役副社長 松田 文登

公式サイト：

<https://www.herabony.jp>

<https://www.herabony.com>

NEWS RELEASE

名古屋市東区東桜一丁目 1 番 1 号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

以上